



#### 【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・総合型クラブ育成の核となる人材を育成するため、平成16年度からこれまでクラブマネジャーを305名養成した。
②	・国体の多人数競技において、平成24年度は前年を72.5点上回る155点を獲得するなど、着実に競技力の向上が図られてきている。
③	・大分スポーツ公園利用者は、“観るスポーツ”、“するスポーツ”併せて118万人を超えており、施設の充実によるスポーツ文化の定着が図られてきている。

#### 【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(24年度事業)	事業コスト(千円)	25年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	地域生涯スポーツ振興事業	6,573	継続	260
	県民スポーツフェスティバル開催事業	19,384	継続	261
②	未来のアスリート発掘・育成事業	15,581	継続	262
	チーム大分強化事業	174,571	継続	263
	スポーツ大分パワーアップ事業	122,000	継続	264
	全国高等学校総合体育大会開催準備事業	234,165	終了	265
③	緊急雇用地域密着型プロスポーツ普及促進事業	36,206	継続	25

#### 【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○平成24年度大分県スポーツ推進審議会(H25. 3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国体で活躍する選手などを見てみると、先輩から良い刺激を受けて目標設定をしたり、技術指導を受けたりする機会を持つことが必要である。</li> <li>・県内に育成されている総合型地域スポーツクラブでは、運営の核となるマネジャーは一定数の確保ができているが、ライセンス制度も含めて指導者養成のシステムをつくることも必要ではないか。</li> </ul>	
---	--

#### 【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型地域スポーツクラブがない地域の地域住民や行政関係者への説明会等を行い、育成支援を図る。</li> <li>・既設総合型地域スポーツクラブの充実発展のため、連絡会、スタッフ研修、指導者育成等支援を図る。</li> <li>・県民すこやかスポーツ祭の参加者数増加に向けた種目別大会実施団体の拡大、障がい者スポーツ団体や高齢者福祉団体との連携、広報の取組を充実する。</li> <li>・選手による学校訪問など地域に密着した取組を推進することで、プロスポーツチームをより身近に感じ、地元チームを応援する気運が醸成され、高度で質の高いスポーツを観る機会も増え、スポーツ人口の拡大が期待される。</li> </ul>